

◆ ITG マーケティング：最大転送速度 1,050MB/s IP65 準拠の防水・防塵性能とセキュリティ機能を搭載した「Samsung Portable SSD T7 Shield」を 5 月上旬より販売



日本サムスン株式会社（本社：東京都港区）の販売特約店である ITG マーケティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：左京 恒夫）は、USB 3.2 Gen 2 10Gbps インターフェースに対応した 高速で高耐久な外付け SSD「Samsung Portable SSD T7 Shield」を 2022 年 5 月上旬より販売する。

■製品特長

<最大転送速度 1,050MB/s >

USB 3.2 Gen 2 インターフェースを採用し、NVMe (TM) SSD を搭載した「Samsung Portable SSD T7 Shield」(以下、「T7 Shield」)は、読み出し最大 1,050MB/s、書き込み最大 1,000MB/s の高速なシーケンシャル性能を実現する^{*1}。ラバー素材の外装は熱を制御して、大容量ファイルの転送でも安定したパフォーマンスを維持する。

^{*1} パフォーマンスはホストの構成によって異なる場合がある。最大転送速度を実現するには、ホストデバイスと接続ケーブルが USB 3.2 Gen 2 をサポートし、UASP モードが有効になっている必要がある。

<高耐久を実現する防水性・防塵性・耐落下性>

「T7 Shield」は、IP65 準拠^{*1}で水や粉塵に対する耐性を持ちつつ、外側を耐衝撃性に優れたエラストマーで覆うことにより、3 メートルの落下にも耐えうる耐久性を備えている^{*2}。また、3 年の限定保証が付いている。

^{*1} 管理された条件下で実施された内部テストに基づいて IP65 と評価されている。水、ほこりに対する耐性は、実際の環境条件によって異なる場合がある。液体、粉塵による損傷は保証の対象外。

IPX5 テスト条件：3 メートル離れたノズル（Φ 6.3mm）から投射された真水の噴流水（12.5 リットル / 分）を 3 分間かけ続ける。
IP6X テスト条件：真空チャンバー内で 2kPa 未満の圧力で 2kg / m³の粉塵を 8 時間吹き付ける。

落下試験条件：デバイスを 3 メートルの高さから金属板に自由落下させる。

^{*2} 落下試験は管理された条件下で実施している。落下耐性は、実際の環境条件によって異なる場合がある。落下による損傷は保証対象外。

落下試験条件：デバイスを 3 メートルの高さから金属板に自由落下させる。

<幅広い互換性>

「T7 Shield」は電力効率に優れた設計となっており^{*1}、Windows PC、Mac、Android 携帯やタブレットなどのモバイル機器、コンソールゲーム機など、日常生活で使用する様々なデバイスに簡単に接続できる^{*2}。



ユーザーの利便性を考慮し USB 3.2 Type-C to C ケーブルと Type-C to A ケーブルが標準で添付されている。

※前モデルである Samsung Portable SSD T5 の一部容量帯でサポートしていたシネマカメラ（USB ポートに直接接続して 4K RAW などの動画収録が可能なもの）との互換性は、検証が完了次第、動作確認情報にて公開予定。

^{*1} T7 Shield は公式の USB 電源仕様に準拠している。ホストデバイスがこれらの仕様準拠していない場合は、互換性の問題やパフォーマンスの低下が発生する可能性がある。

^{*2} T7 Shield との互換性は、ホストデバイスによって異なる場合がある。

<セキュリティ機能でより安全にデータを守る>

「T7 Shield」は、パスワード設定による AES 256 ビット ハードウェア暗号化機能を搭載しています。「T7 Shield」にプリインストールされている「Samsung ポータブル SSD ソフトウェア 1.0」で、セキュリティ設定やデバイスのファームウェアとソフトウェアのアップデートを行うことができます。

また、新たに Samsung SSD 管理ツールである「Samsung Magician ソフトウェア」が Samsung ポータブル SSD シリーズに対応しました。ドライブの健康状態、温度、データ使用容量の可視化に加え、Samsung ポータブル SSD ソフトウェアと同様にセキュリティ設定やファームウェアのアップデートが可能です。

^{*1} Samsung ポータブル SSD ソフトウェアの動作には、Windows 7、Mac OS X 10.10、Android 5.1 Lollipop)以降が必要。ファームウェアの更新には、PC または Mac の使用とインターネット接続へのアクセスが必要。Android アプリは Google Play で入手可能。

^{*2} Samsung Magician ソフトウェア バージョン 7.0 以降にて対応。Windows でのみ使用できる。

<テラバイトを持ち歩く>

軽量でポケットサイズの「T7 Shield」は持ち運びに便利で、滑りにくいラバー素材のボディはホールド感も良く、手の中にすっぽり収まる。テラバイトクラスの大容量ラインアップを揃えており、1TB（ブルー）と 2TB（ブラック）を国内で展開する。

上記特長の注釈およびその他の特長、製品仕様につきましては添付のプレスリリースをご覧ください。

■製品ラインアップ

T7 Shield

1TB MU-PE1TOR-IT、MU-PE1TOR-IT/EC（ブルー）

※価格はオープンプライス。想定価格：20,980 円

2TB MU-PE2TOS-IT、MU-PE2TOS-IT/EC（ブラック）

※価格はオープンプライス。想定価格：39,980 円

■製品情報 URL

<https://www.itgm.co.jp/product/portable-ssd-t7-shield.php>

◆池上通信機 NAB Show 2022 出展概要>

池上通信機は、2022年4月24日～27日にアメリカ・ラスベガスのLVCC (Las Vegas Convention Center) で開催されたNAB (National Association of Broadcasters) Show 2022に出展した。放送業界で要求されるUHD HDR対応、HFR対応、IP対応を実現した先進のカメラ、4K・HDのモニターラインアップを紹介する。

会場：LVCC ブース番号：C4426

【主な出展機器：4K/HDカメラおよびモニター】

●4K/HDカメラ

- UNICAM XE 4K/HDスタジオカメラシステム UHK-X750
- 4K/HDポータブルカメラシステム UHK-X700



「UHK-X750/UHK-X700」は、新開発グローバルシャッター対応2/3型CMOSセンサーを採用し、ローリングシャッター方式と比較して歪みやフラッシュバンドのない自然で高精細な4K映像を再現します。また、「UHK-X750」は、スタジオタイプの筐体ならではの利点である、光軸に近い位置でビューファインダーを配置できるため、取り回しに優れている。

HLG (Hybrid Log Gamma) 方式のHDRおよび広色域ITU-R BT.2020に準拠しているため、照度差の激しい屋外やイベント撮影などでも自然な映像表現が可能。VE側のオペレーションパネルからバックフォーカスの調整が可能な「リモートバックフォーカス機能」や高倍率レンズでズーム撮影時に周辺の光量落ちを補正する「Fドロップ補正機能」など映像制作における高い運用性を誇ります。カメラヘッドから直接、12G-SDIの出力が可能のためカメラ単体での多彩な運用スタイルに対応する。

■カメラコントロールユニット CCU-X100



「UHK-X750」、「UHK-X700」に接続し、最大4000mまでの長距離伝送が行えるカメラコントロールユニット。光複合ケーブルにより映像、音声、コマンド信号の伝送やカメラへの電源供給を行う。オプションにより、4Kで最大2倍速、HDでは最大8倍速の「HFR (ハイフレームレート) 機能」を搭載可能なほか、SMPTE ST2110準拠、NMOS IS-04、05に対応したMoIPインターフェースを搭載できる。4K、HD同時出力が可能のため4K/HDサイマル運用やHDから4K運用へのスムーズな移行をサポート

する他、IP化へも柔軟に対応する。

HDカメラUnicam HDシリーズの「HDK-73」の他、「HDK-97A」、「HDK-79GX」、「HDK-55」にも対応している。

■ベースステーション BSX-100

「UHK-X750」、「UHK-X700」に接続可能な3Uの小型・軽量化を実現したハーフラックサイズのコンパクトな設計により、中継車や限られたスペースに設置可能なベースステーション。



オプションにより、「4Kで最大2倍速、HDでは最大8倍速のHFR (ハイフレームレート) 機能」を搭載可能です。4K/HDサイマル運用に対応するほか、SMPTE ST2110準拠、NMOS IS-04、05に対応したMoIPインターフェースを搭載できるため、IP化へも柔軟に対応する。

HDカメラUnicam HDシリーズの「HDK-73」の他、「HDK-97A」、「HDK-79GX」、「HDK-55」にも対応しており、HDから4K運用へのスムーズな移行をサポートする。

■4K/HD超高感度マルチパーパスカメラ UHL-F4000

超高感度4K映像とコンパクト、軽量、省電力なカメラヘッドを特長とする、4K/HD 3CMOS光学ブロック分離型多目的2ピースカメラで、特にヘリコプター搭載用カメラに適しています。高感度グロー



バルシャッター対応2/3型CMOSセンサーを採用し、ローリングシャッター方式と比較して歪みのない自然で高精細な4K映像と、高感度を両立しています。さらに最大10倍のデジタルズームや4K映像からHD映像を切り出す「HDカットアウト機能」、霧、もや、煙などの環境下でも鮮明な映像が得られる「画像鮮明化機能」、画像のエッジ部分を強調する「画像鮮鋭化機能」など多彩な機能を装備し、夜間のニュース取材や監視業務に威力を発揮する。

■4K/HDマルチパーパスカメラ UHL-43

2/3型4K 8M Pixel CMOS 3板式の光学系を搭載した4Kマルチパーパスカメラ。ワンピースタイプのコンパクト設計のため、パンチルトシステムの他、情報カメラ用途に最適。HDRに対応し、ネイティブ4KとHD (4Kダウンコンバート) 出力を切り替えて運用することができる。12G-SDI出力を標準装備、オプションで3G-SDI QUAD LINKにも対応。各種のコントロールパネルとの接続が可能。



● HD カメラ

■ HD ポータブルカメラシステム HDK-73



2/3 型 CMOS センサーを搭載したHD ポータブルカメラシステム。フォーカスアシストや収差補正などの従来機能に加え、HDR 機能を搭載し豊かな映像表現

を可能としました。充実の機能を備えた、コストパフォーマンスに優れたシステムカメラ。

● 4K/HD モニター

■ 4K/HD マルチフォーマット LCD マスターモニター HQLM-3125X



LED バックライトを搭載した新開発の 4K UHD 31.1 型 (4096 × 2160) 10bit IPS 液晶パネルを採用し、輝度 1000cd/m2、コントラスト比 100

万 : 1 を実現した 4K HDR 対応マスターモニター。

12G-SDI 2 入出力、3G/HD-SDI 最大 5 入出力に加え、HDMI (HDCP2.2) 1 入力を標準装備。

HDR は ITU-R BT.2100 Hybrid Log-Gamma、SMPTE ST.2084 PQ 及び他 Log に対応している。

HDR に対応した WFM (RGB/YCbCr) 表示および VSC (Vector) 表示が充実している。

ユーザー設定可能な 3D-LUT による色補正が可能、また長期安定を考慮したユニフォミティ補正機能を備えている。

■ 4K/HD マルチフォーマット LCD モニター HQLM-3120W



LED バックライトを搭載した 31.1 型 UHD (4096 × 2160) 10bit IPS 液晶パネルを採用し、高コントラスト (1500 : 1)、広色域、広視野角 (上下左右 178°) を実現した 4K

HDR 対応のマルチフォーマット放送モニター。

12G-SDI、3G-SDI Q/L (SQD/2SI)、HD-SDI、HDMI (HDCP2.2 対応) に標準対応。

HDR は ITU-R BT.2100 Hybrid Log-Gamma、SMPTE ST.2084 PQ 及び他 Log に対応している。

SDI/HDMI エンベデッドオーディオに対応

■ 4K/HD マルチフォーマット LCD モニター HQLM-1720WR



LED バックライトを搭載した新開発の 4K UHD 17.3 型 (3840 × 2160) 10bit IPS 液晶パネルを採用した 4K HDR 対応のマルチフォーマット放送モニターです。

12G-SDI 2 入出力、3G/HD-SDI 最大 5 入出力に加え、HDMI (HDCP2.2) 1 入力を標準対応 HDR は ITU-R BT.2100 Hybrid Log-Gamma、SMPTE ST.2084 PQ 及び他 Log に対応しています。

HDR に対応した WFM (RGB/YCbCr) 表示および VSC (Vector) 表示が充実

副調整室、中継車などのモニター棚 (7U)、ラックマウント搭載に最適にモニターです。

■ HD マルチフォーマット LCD モニター 60series



HLM-2460W (24 型)



HLM-1760WR (17 型)



HLM-960WR (9 型)

フル HD パネルを搭載した HD モニターです。IPS 方式による高輝度・高コントラストに加え、広視野角・優れた応答性・色再現性を誇ります。入力端子には、マルチ SDI (3G/HD/SD、2 系統)、HDMI、アナログコンポジット、アナログオーディオなど、多彩な入力を標準装備し PIP にも対応しています。オプションで AC/DC/バッテリー運用に対応 (2460W を除く) し、持ち出しロケや中継用途にも最適です。

◆放送に最適化された IP 伝送技術を持つ AMMUX と協業

リモート制作 / IP 制作ソリューションにおいて低遅延のエンコード / デコードを実現

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は 4 月 21 日、放送に最適化された IP 伝送技術を持つ AMMUX と、リモート制作 / IP 制作ソリューションの提供に向け協業することを発表しました。AMMUX の IP 伝送技術を活用した IP 制作ソリューションは、4 月 24 日（日）から 27 日（水）まで米国ネバダ州ラスベガスで開催される 2022 NAB Show（全米放送機器展、主催：全米放送事業者協会、於：ラスベガス・コンベンション・センター（LVCC））の朋栄ブース（セントラルホール C5408）において、リモート制作ソリューションの IP 伝送部分に活用して紹介する予定です。

AMMUX のチーフサイエンティストであるセルジオ・アミラータ（Sergio Ammirata）は、同社の IP 伝送技術について次のように話した。「当社独自の IP 技術は、すべてソフトウェアベースの技術であり、クラウドベースの制作環境においても利用可能です。朋栄が提唱している Software Defined 化された IP ソリューションにおいても、堅牢で信頼性の高い IP 伝送環境を提供できます。複数の高品質ビデオ、オーディオ、データストリームを、安全な RIST トンネルを経由して IP 伝送することができ、WebRTC をサポートする Web ブラウザーを使用して、どこからでもコンテンツにアクセスすることができるようになります。」

AMMUX 独自のソフトウェアベースの IP 技術は、朋栄の「Software Defined IP Solution」における新しいアーキテクチャとして、新しいリモート制作ソリューションの一部に組み込まれます。AMMUX オペレーティングシステムは、放送用途用に最適化されており、低遅延のエンコード / デコードに加え、安全な RIST（Reliable Internet Stream Transport）プロトコルによる転送が可能。RIST トンネルは、ビデオ、オーディオ、データの複数のストリームのほか、機器制御のストリームも同時に扱うことができる。WebRTC（Web Real-time Communication）も組み込まれているため、再生プレーヤーやゲートウェイを使用することなく、Web ブラウザーを使って、どこからでもファイルアクセスすることが可能になる。

朋栄代表取締役社長の清原克明は、今回の協業について次のように話しています。「2022 NAB Show において朋栄は、これまでの信号処理をソフトウェアベースで実現していく『Software Defined』というコンセプトを初めて打ち出し、各社の機器を活用しながらエンド to エンドの IP 制作ソリューションを紹介します。AMMUX の持つ IP 伝送技術はクラウドベース環境においても活用可能であり、今後、朋栄が提供する IP ライブ制作ソリューション全体で活用できるようになることを期待しています。」

◆朋栄：NAB2022 出展。IP ソリューションや各種ソリューションなど、最新の取り組みを紹介

株式会社朋栄は、2022 年 4 月 23 日から 27 日（米国時間）に



米国ラスベガスで開催された NAB2022 に出展（セントラルホール / C5408）。

メインテーマとして「Find Your Next Innovation」を掲げ、ブース中央に「Software Defined IP Solution」コーナーを配置して IP ソリューションを提案した。さらに、「Ultra Slow-Motion Camera/ Instant Production Solution」「4K/12G Live Production Solution」「Stadium Solution」「Hybrid Event Production Solution」「XR & Graphic Solution」の 5 つのカテゴリのソリューションに分けて、最新の取り組みを紹介。

■主な展示内容

1. Software Defined IP Solution

朋栄が新たに取り組んでいる、各種信号処理をソフトウェアで実現する「Software Defined」。この Software Defined のコンセプトを採り入れた 2 つの発売予定製品を紹介するとともに、IP 対応製品を中心に展示。

2. Ultra Slow-Motion Camera/Instant Production Solution

スローモーション関連を中心とした製品を紹介。

3. 4K/12G Live Production Solution

海外でも評価が高まっている朋栄の 4K/12G 対応製品を一堂に集めて紹介。

4. Stadium Solution

スタジアム内のマルチスクリーン環境に各種情報を表示させるための製品を中心に紹介。

5. Hybrid Event Production Solution

ライブイベント、企業ユース、公会堂など、幅広いシーンで利用可能なソリューションとして、ビデオスイッチャー HVS-490 を中心としたシステムを展示。HVS-490 は、NDI® 入出力への対応も予定しており、SDI/IP を組み合わせ可能なハイブリッドシステムとして活用することを提案。

6. XR & Graphic Solution

海外市場向けに展開している ClassX 社製キャラクタージェネレーターが、XR に対応。ビデオスイッチャー HVS-100 と連携してコンパクトな CG タイトル環境を実現する。

◆アストロデザイン：NAB SHOW 2022 に出展 「LIVE × 8K」、最新製品によるライブワークフローを展示



アストロデザイン株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：鈴木 茂昭、以下アストロデザイン）は、2022 年 4 月 24 日（日）～ 27 日（水）の 4 日間にわたりアメリカ・ラスベガスで開催される「NAB SHOW 2022」に出展。

アストロデザインブースの今年のテーマは「LIVE × 8K」です。遠くで起きている出来事をあたかも今、そこにいるかのように感じられる技術。カメラの小型化、映像の IP 化、高精細映像技術の深化を追求し、そのような世界を実現します。最新製品によるライブワークフローを 3 年ぶりの NAB で展示します。

主な出展製品

LIVE ワークフロー

・ 8K Camera System

アストロデザインが開発した小型ヘッドの 8K カメラシステム AB-4830/AC-4829 を中核に据え、レンズとカメラ制御、複数カメラ映像の調整など、LIVE での 8K カメラシステムの展示を行います。カメラ出力映像は、3D LUT を用いた色域・ダイナミックレンジ変換や 8K モニタでの表示の他、非圧縮および JPEG XS による IP 化を行います。8K 映像を利用したユースケースや応用事例についても提案する。

・ 4K120p ソリューション

8K60p/4K120p に対応した SDI-HDMI コンバーター最新機種インターフェースアダプタ IA-1566、4K120p 収録が可能な Express Recorder IR-7523 を展示。レコーダーはスロー再生や SMPTE ST 2110 入力に対応し、撮影現場や IP ワークフローにおいて幅広く活躍する。

次世代計測器の紹介（パネル展示）

HDMI2.1、12G-SDI インタフェースの信号出力及び入力信号の解析機能に対応した最新ハイスpek計測器 Universal Video Platform LS-8500 と同ポートブル機の Universal Video Tester LC-8600、ディスプレイの新しい色域表現手法である Gamut Rings（IEC、CIE の国際規格準拠）に対応した自動計測アプリケーション SP-8870-CM と測定デバイスをパネルとプレゼンでご紹介します。また 12G-SDI を含む SDI 信号の音声モニタリングを行うオーディオモニター AM-3825 を展示。

<https://www.astrodesign.co.jp/contact.html>

◆アストロデザイン：8K カメラによるスポーツ観戦体験の向上



使用機材：8K カムコーダー AA-4814-B

2020 年以降、新型コロナウイルスの影響により数多くの無観客試合が行われた。観客不在の試合は選手への心理的影響も大きく、歯がゆい思いをした人も多かったことと思います。再び会場に戻ってきた観客に対し、より楽しく安全で快適な時間を過ごしてもらいたい——それは、スポーツチームやスタジアム等を運営する人々にとって共通の願いではないでしょうか。今回は、スポーツ観戦体験の向上を目的として行われた実証実験について紹介する。

バンテリンドーム名古屋での実証実験

2021 年 10 月上旬、バンテリンドーム名古屋で有観客開催された中日ドラゴンズ対広島東洋カープ戦の公式試合において、当社はキャスレーコンサルティング株式会社、株式会社エイビットとともにマーケティング&セキュリティプラットフォーム「ASCA（あすか）」の実証実験を行った。

アストロデザインの 8K カムコーダにより、グラウンド全体をバックネット裏から俯瞰した状態で 8K 撮影。

撮影した映像は屋内の 8K モニタで確認するとともに、エイビットのローカル 5G ネットワークにより高速低遅延で伝送。

さらにキャスレーの高速化技術・AI によるデータ解析を行った。

従来の HD・4K 映像や 4G LTE での伝送では得られない認識精度を達成し、

・ モバイルデバイスへのリアルタイムデータ配信

・ オブジェクト認証技術による客席からの物販オーダー

・ 客席の密状態や危険の検知

・ バックスクリーンの視認時間の推定

など、映像を起点とした様々なソリューションが実現できることを確認した。

ASCA とは

アストロデザイン、キャスレーコンサルティング株式会社、AIC-VISION 株式会社の 3 社による、8K 映像機器 + 5G + AI 解析プラットフォームなど先進技術等を活用した新サービス事業モデルです。東京都中小企業振興公社「令和元年度・革新的サービスの事業化支援事業」に採択されており、従来にない革新的な機器とビジネスモデルを組み合わせたサービスとして、将来的に高い競争力の事業を目指しています。今後はシステムの自動化を進めるとともに、スポーツの他、エンタテインメント分野や商業施設に向けた展開を行っていきます。

◆ゼンハイザー：MOMENTUM True Wireless 3 発売



Sennheiser Consumer Audio 一度聴いたら、もう戻れない 最高を再定義

登場以来、日本のみならず世界中、そして業界問わず『ワイヤレスイヤホンの新たなスタンダードを打ち立てた』という数多くの高い評価を受け、今なお圧倒的な支持を得る MOMENTUM True Wireless 2。『ワイヤレスだから音質は微妙』という既成概念を覆し、ワイヤレスイヤホンの常識を超える音質には、マイクからイヤホン・ヘッドホンの音の全てを知り尽くしたブランドの積み重ねてきた歴史とノウハウ、そして技術の賜物。そんな最高傑作の一つを再定義、そして進化させて MOMENTUM True Wireless 3 が登場が。

あらゆる音楽がラグジュアリーに変わる

音楽を聴く上で、イヤホンは良質な音楽体験を左右する最も重要な要素の一つ。ゼンハイザーの技術とこだわりが詰め込まれた高性能 TrueResponse トランスデューサーは 7mm 口径のダイナミックドライバー一基を搭載し歪みを最低限に抑え、淀みないクリスタルのような音、溢れる臨場感、正確で深みのある低域、ナチュラルでクリアな中高音域な、全ての音を忠実に再現。さらに有線のハイエンドイヤホンモニターカテゴリーで発表当初から音質の高さ、特に中音域の音質の高さが支持される IE600 と同様のアコースティックバックボリューム機構を搭載。

そしてもう一つの大きな進化は第二世代では一基だったプロセッサを、第三世代の MOMENTUM True Wireless にはもう一基搭載し、DAC/DAC の役割とパフォーマンスを向上。音の表現力が格段にアップし、(ホワイト) ノイズを抑えて、音質に大幅な進化をもたらしました。

高い解像度で奏でる一つ一つの音は音楽そのものの素材を最大限に活かし、至極のサウンド体験を創出。また、近年様々な音楽配信アプリが空間オーディオなどの優れたリスニング環境に対応し音楽の再現性や音の情報量はますます豊かになっていく中、イヤホン自体の質はそのリスニング体験に大きな違いを作ります。想像してみてください。MOMENTUM True Wireless 3 と立体音響の組み合わせから流れ出る音楽を。

aptX Adaptive Adaptive でサウンドをさらに贅沢に

MOMENTUM True Wireless 3 は aptX Adaptive Adaptive へ対応。96/24bit のハイレゾ級音源に対応したことにより、さらなる高い次元の音質を実現。一つ一つの音がよりしっかりとした輪郭を描き、レンジも広がりゼンハイザーのサウンドがもう一段階上へ。さらに低遅延さらに、人混みなどで音が途切れてしまうようなストレスからも解放。シンプルに贅沢にハイレゾ相当のサウンドであらゆる音に浸ることができます。

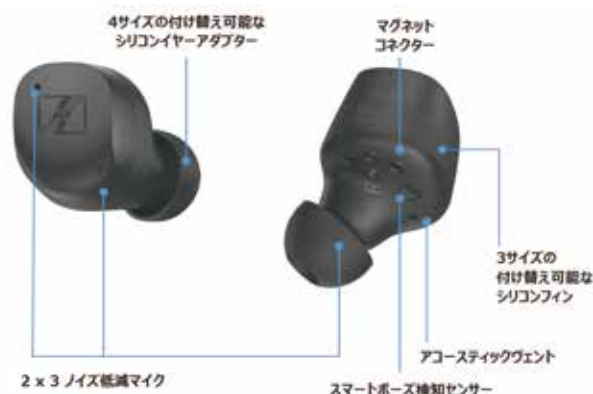
音楽に込められた思いまで伝わる。このワイヤレスイヤホンで全ての音が変わる。

音のために全てが進化

全ては音質のためでありながら音質以外の面も大きな進化を遂げています。なにより大きなポイントは先述したもう一基のプロセッサ。第三世代の MOMENTUM True Wireless にはクアルコム社のチップに加え、もう一基の DSP チップ (NC 制御 + DAC 機能) を搭載し、役割を効率的に分けて二基のチップでイヤホン性能を高めています。

静寂のコントロールはおまかせ

MOMENTUM True Wireless 3 のノイズキャンセリングは次世代型になって登場。周囲の騒音レベルに合わせてノイズキャンセルの度合いを自動で調整するアダプティブノイズキャンセリングとハイブリッド型のノイズキャンで確かな効果を発揮し、さらに便利に。大幅にアップデートしたノイズキャンセリング、一番にフィーチャーすべきポイントは、上述したようにもう一基のチップの存在。



今回は新たに Bluetooth 受信用とは独立した一基の DSP チップチップ (NC 制御 +DAC 機能) を搭載し、より効率的なコントロールを可能にしました。

そして、今回のノイズキャンセリングには TWS では初めてゼンハイザー独自のアルゴリズムを採用。また、従来は音質への影響を抑えるためフィードフォワードのみでのノイズキャンセリングでしたが音質への影響を抑えるため、ゼンハイザーが培ってきた知識と技術を用いて、上述したもう一基のプロセッサに加え、フィードバック式マイクを一基新たに搭載し、フィードフォワード式とフィードバック式を合わせたハイブリッド方式を採用しても音質を損ねないノイズキャンセリングを実現。そして最後にこれらを実現する上で忘れてはならないのが、イヤホンの核である超高性能トランスデューサーを自社開発していること。これにより上質な音質とノイズキャンセリングの融合を達成しました。

ゼンハイザーは世界で初めてパイロット用のヘッドセットにアクティブノイズキャンセリングを搭載し、その後もノイズキャンセリングレベルを調整できるイヤホンを 2011 年に発表するなど、ノイズキャンセリングのシステムコントロールを自社でできる専門性を持ち、『ノイズ』に対しても長年の知識と技術を持っています。これらの全てを自社で対応できるブランドは世界でも数える程度に違いありません。ゼンハイザーの音にこだわり続けてきた歴史と情熱の賜物です。確かな効果とともに、音質を活かすためのゼンハイザーのノイズキャンセリングでもう一段上のリスニング体験をお届けします。

外の世界とつながる外音取り込みモード

イヤホンをつけたまま周囲の音を聞き取るトランスペアレントヒアリング (外音取り込み) 機能。MOMENTUM True Wireless3 のトランスペアレントヒアリングは周囲の音を取り込むレベルを SmartControl (スマートコントロール) アプリでユーザーの好みに合わせて調節可能。駅で、カフェで、コンビニで、日常の中のあらゆるちょっとし瞬間にイヤホンを外す必要はありません。指一本の操作で瞬時に外界とつながることができます。

届ける音も高いクオリティ：通話音声

MOMENTUM True Wireless3 は一つのイヤホンには 3 基のマイク合計 6 基を搭載。2 基 ((左右合わせて 4 基)) のビームフォーミングマイクにより自身の声を集音し、さらにノズル内に設置したイヤーチャンネルマイクで低域を拾い、耳管や骨を通して体の中で響く音を集音。これにより、周囲の騒音が大きくても自身の声に焦点を当て、より正確でクリアな音声を実現。電話、オンライン会議などのあらゆる用途に、あらゆるシーンで、伝えたい声を伝えたい人。

些細な違い、なのに装着感に革命を起こすイヤーフイン

人間工学デザインで軽量感のある装着感をさらに向上させるシリコンフイン。3 サイズから選べるフインによるグリップでしっかりとホールドし、不安のない安定した装着感を実現。普段使いはもちろ

ん、ジョギングやジムでのワークアウト、その他のスポーツ時でも耳から落ちる心配はなくなります。今までにないフィット感で移動から運動まであらゆるあらゆるシーンシーンの傍らにの。

最大 28 時間の再生で楽しさは一日に収まらない

バッテリーライフはイヤホン単体で最大 7 時間、充電ケース併用で最大 28 時間なので、長時間のリスニングでも充電切れの心配は不要。ケースから取り出せばすぐに音楽を楽しむことができます。通勤・通学、オンライン会議にジムでのワークアウト、一日稼働できる力強さに、旅行のお供にも安心のバッテリーの持続力。さらに 10 分の充電で約 11 時間の再生ができるクイックチャージで、時間がない日でも慌てず安心。様々なライフスタイルにしっかりと対応、もう音質をあきらめない毎日を過ごせます。

手軽で便利なワイヤレス充電

Qi ワイヤレス充電対応で充電がもっと手軽で便利に。ケーブルから解放されたいなら Qi ワイヤレス (もちろん今まで通りケーブルでの充電にも対応)。

屈しない、雨にも汗にも悪天候にも

IPX4 の防滴仕様なのでちょっとした雨や汗に濡れても大丈夫。アクティブなライフスタイルをしっかりサポート。

ずっとつながる抜群の接続性

瞬時に接続されて、ずっとつながる。

Bluetooth 5.2 Class 1 出力対応、LDS アンテナ、True Wireless Mirroring も搭載で途切れにくいので人込みの中でもストレスを感じることなく音楽を堪能。

右か左にとらわれない、両方できる片耳使い

長時間通話に重宝する片耳使い。左右どちらもできるから、片方を使いながらもう片方は充電できて効率よく使い分けが可能。左右の切り替えも手軽なのでとても便利。

2022RedDot デザイン賞受賞する先進的でミニマルなデザイン

第二世代よりも 16% コンパクトになり、多くの人にフィットする心地良い装着感、前モデルから継続しているプレミアム感のあるファブリックチャージングケース。そしてカスタマイズできるタッチコントロール。その全てが評価され、2022RedDot デザイン賞を受賞。音質だけにとどまらず、ミニマルでいてスタイリッシュなデザインでもユーザーを魅了。

環境へ配慮したパッケージパッケージ

セキュリティステッカー以外は全てリサイクル素材を使用したプラスチックフリーのサステナブルなパッケージ。ボックスはもちろん、イヤーチップやフィンを梱包する素材も全て紙素材で完結。不要なプラスチック素材の使用を抑えることで、少しでも持続可能な社会への貢献を。音を楽しむ世界がいつまでも続くように、できることを少しずつ。

発売日：ブラック 2022 年 5 月 20 日

ホワイト 2022 年夏以降 価格：オープンプライス

※店頭想定価格：36,300 円 (税抜き) 39,930 円 (税込み)